

1. 大学院修了後、どこでどのように働けるのか、みえるようにする

- どのような人材が求められているか、どのような職種があるのか、キャリアパスは
→ 学会HPに情報を掲載する
農水省行政官、政策研研究員、シンクタンク研究員

2. 共同議論・共同研究を進める

**政策側（行政）と研究側（大学/学会）、政策研究機関と大学研究者
シンクタンクと大学**

- 政策側は経験的思考から脱却、研究側は社会課題に向かい合う
：問題を抽出、複雑・複合的な全体構図を解明、解決の方途を探究
→ 共同研究のモデルをつくる、学会でセッション報告を行う
→ プロジェクト研究費の提供（行政、政策研究機関側）

3. 大学では、学生、大学院生、若手研究者に、研究の面白さがみえるように

- 大学の研究・教育で、行政と大学との共同活動のなかで

▶ 今後について

- 何年か継続して議論を進める
- 若手研究者の会をつくり、若手で議論をしては